

線形代数学第一 (LAS.M102-10)

行列式の性質

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

`http:`

`//www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/`

東京工業大学

2022/05/13

問題 8-1

問題

- ▶ 上三角行列, 下三角行列の行列式は対角成分の積である.
- ▶ $\det({}^t A) = \det A$
- ▶ 行列式は各列 (行) に関して線形.
- ▶ 行列式は列 (行) の入れ替えに関して交代的.
- ▶ $\det(AB) = (\det A)(\det B)$

行列式は

- ▶ 行列式は，正方行列 $A = [a_{ij}]$ に対応して定まる数である。
 A が n 次正方行列のとき

$$\det A = \sum_{\mathbf{p}} (\operatorname{sgn} \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \cdots a_{np_n}$$

総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \cdots p_n)$ 全体にわたってとる。

三角行列

- ▶ 正方行列 $A = [a_{ij}]$ が上三角行列 \Leftrightarrow 「 $i > j$ なら $a_{ij} = 0$ 」
- ▶ 上三角行列の行列式は対角成分の積.

$\det A = \sum (\operatorname{sgn} \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \dots a_{np_n}$ 総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$ 全体にわたってとる.

転置

▶ $\det({}^t A) = \det A$

$\det A = \sum (\text{sgn } \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \dots a_{np_n}$ 総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$ 全体にわたってとる.

(多重) 線形性

- ▶ 行列式は各列（行）に関して線形.

$\det A = \sum (\text{sgn } \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \dots a_{np_n}$ 総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$ 全体にわたってとる.

例

- ▶ $\det E$
- ▶ $\det(sA)$
- ▶ $\det(-A)$